

シラバス参照

科目名	機能性食品学
科目名(英字)	Functional Foods
ナンバリング	17CC03
年次	3年次
単位数	2
期間	前期
担当者	川原 幸一(カワハラ コウイチ) 藤田 英俊(フジタ ヒデシ)

授業のねらい・概要

生活習慣病の低年齢化と高齢化社会という社会問題を抱えている。それに伴い、治療に対する医療費は拡大するばかりである。そこで、予防医学的観点から期待されているのが食品である。食品は、栄養、嗜好、生理機能の3つの機能がある。その中で注目されているのが生理機能である。したがって、機能性食品学では、1～3次機能、機能性食品の作用機序とシグナル伝達、疾患に対する予防効果について学ぶ。

授業計画

	テーマ	内容・方法等	予習／復習
第1回	機能性食品学とは	機能性食品学について概説する。	(予習)機能性食品について調べる(2時間)。(復習)機能性食品について整理し理解する(2時間)。
第2回	食品の機能性	食品の1次、2次、3次機能について学ぶ。	(予習)食品の3つの機能について調べる(2時間)。(復習)食品の3つの機能について整理し理解する(2時間)。
第3回	シグナル伝達1	細胞内シグナル伝達を概説する。	(予習)細胞内シグナル伝達について調べる(2時間)。(復習)細胞内シグナル伝達について整理し理解する(2時間)。
第4回	シグナル伝達2	疾患と細胞内シグナル伝達について学ぶ。	(予習)疾患とシグナル伝達について調べる(2時間)。(復習)疾患とシグナル伝達について整理し理解する(2時間)。
第5回	機能性食品の素材1	植物系の素材について学ぶ。	(予習)植物系の素材について調べる(2時間)。(復習)植物系の素材について整理し理解する(2時間)。
第6回	機能性食品の素材2	動物系の素材について学ぶ。	(予習)動物系の素材について調べる(2時間)。(復習)動物系の素材について整理し理解する(2時間)。
第7回	復習1	第1回から第6回までの復習を行う。	(予習)第1～6回の復習を行う(3時間)。(復習)第1～6回の内容を整理し、理解する(3時間)。
第8回	疾患と機能性食品1	炎症性疾患と機能性食品について学ぶ。	(予習)炎症について調べる(2時間)。(復習)炎症性疾患について整理し理解する(2時間)。
第9回	疾患と機能性食品2	循環器疾患と機能性食品について学ぶ。	(予習)循環器について調べる(2時間)。(復習)循環器疾患について整理し理解する(2時間)。
第10回	疾患と機能性食品3	悪性新生物(がん)と機能性食品について学ぶ。	(予習)がんについて調べる(2時間)。(復習)がんについて整理し理解する(2時間)。
第11回	疾患と機能性食品4	脳神経疾患と機能性食品について学ぶ。	(予習)脳神経について調べる(2時間)。(復習)脳神経疾患について整理し理解する(2時間)。
第12回	疾患と機能性食品5	糖尿病と機能性食品について学ぶ。	(予習)糖代謝について調べる(2時間)。(復習)糖尿病について整理し理解する(2時間)。
第13回	疾患と機能性食品6	運動器疾患と機能性食品について学ぶ。	(予習)運動器について調べる(2時間)。(復習)運動器疾患について整理し理解する(2時間)。
第14回	機能性食品の今後の課題	機能性食品の今後の課題について学ぶ。	(予習)機能性食品の課題について調べる(3時間)。(復習)機能性食品の課題について整理し理解する(3時間)。

到達目標

- (1) 生体内の器官についてどのような器官があるか概略を説明できる。ミニマム・リクワイアメント
- (2) 各器官について、それぞれの器官の構造・場所の概略を説明できる。

- (3)各器官について、それぞれの器官の構造・場所の詳細を説明できる。
 (4)各器官について、それぞれの器官の相互作用を説明できる。

評価方法 授業時の確認テスト、設問(70%)、定期試験(30%)で評価する。

成績評価
基準

テストにより到達目標(1)を達成しているかを判定する。(1)を達成できない場合、本単位を取得できない(欠格条件)。到達目標(1)を達成している場合に限り、到達目標(2)～(4)の達成度をテストで判定する。
 A:到達目標(1)を達成し、到達目標(2)～(4)について90%以上達成できている。
 B:到達目標(1)を達成し、到達目標(2)～(4)について80%以上90%未満達成できている。
 C:到達目標(1)を達成し、到達目標(2)～(4)について70%以上80%未満達成できている。
 D:到達目標(1)を達成し、到達目標(2)～(4)について60%以上70%未満達成できている。
 F:上記以外

教科書

	書名	著者名	出版社名
1.	機能性食品学	長村洋一	日本食品安全協会
2.	健康食品管理士認定試験のための問題解説集	長村洋一	日本食品安全協会

参考書

受講心得

毎回の講義内容を継続的に復習していくことを強く勧めます。覚える内容が多いので少しずつ確実に習得してください。テストの解答例を授業中に示すので、理解を深めること。フォローアップ期間に復習・追試験などを行う。

オフィス
アワー

川原:毎週月曜日5限(場所:東学舎2号館2階 機能性食品研究室)
 藤田:毎週月曜日5限(場所:東学舎1号館2階 分子システム生物学研究室)

実践的教育 【実践的教育】機能性食品による病態進行の予防研究の経験を持つ教員がその経験を活かして機能性食品について講義する。